

第 15 回静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議（要旨）

1 感染流行期の評価について

- ・ 先週と比較すると今週 1 週間の新規感染者数は 1.16 倍に増加している。
- ・ 県全体の病床占有率は 16.1%（6 月 30 日時点）であり、西部地域も 20%以下となり、抑えられている状況。
- ・ 国のステージ指標については、『1 週間の新規感染者数の増加』のみがステージⅢに該当するが、それ以外の指標についてはステージⅢの指標には達していない。
- ・ 以上の結果から、事務局案として『ステージⅡ』を維持としたい。

<委員意見等>

- ・ 出席委員全員が『ステージⅡ』を維持」との意見に賛成。
- ・ 『ステージⅡ』を維持することが、県民に安心していいという間違ったメッセージにならないように注意してほしい。
- ・ 今週の感染者は先週と比較すると増加に転じていることや東京等の状況を鑑みると今後、本県においても感染者が増加することが明確であるので油断してはならないという点は附帯してほしい。

* 『ステージⅡ』を維持するが、今週の新規感染者数が増加していること、クラスターが多く発生していること等も鑑み、県民の皆様には油断することなく、より一層の感染予防対策をとっていただくよう注意喚起を行う。

2 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（関連イベント等を含む）の感染症対策について

- ・ スポーツ文化観光部の職員より、『東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会』に関する事前キャンプや大会本番の日程や観客の想定収容人数、大会関係者（選手・選手団・大会運営ボランティア・各国の報道関係者等）の動き、現在予定されている公式ライブサイト（組織委員会・県・市の 3 者共催）、市町が主催するコミュニティライブサイト、市町や団体が主催するパブリックビューイングの計画について説明があった。
- ・ その後、健康福祉部より事前キャンプ時や大会期間中において感染者発生した場合、陽性者や濃厚接触者の対応について現時点でわかっている医療提供体制について説明を行った。

<委員意見等>

- ・ 観客を入れて行うということが組織委員会で決定されている限り、感染対策を厳密に守ってもらうしかない。
- ・ 組織委員会が観客に対し直行直帰を呼びかけているのは理解できるが、実際に観客が守れるかどうかかわからない。直行直帰が担保できない。
- ・ オリパラ会場では酒類の提供はないと聞いているが、集まった後にそのまま近隣の飲食店に流れてアルコールが入り騒ぐ方がいるかもしれない。
- ・ パブリックビューイング等で人が集まる機会を作ることで人流が生まれ、飲食がなくても感染する機会が増えてしまうという点が懸念される。

- ・ ワクチン接種が完了している方（高齢者や医療従事者等）の集まりや感染伝播力が比較的弱いと言われている小学生、中学生等が母校の選手等を応援するような小規模の集まりであればいいのではないかと。
- ・ 飲み物の提供について、熱中症予防も視野にいたした対応をしてほしい。
- ・ 会場に集まって観戦することについては原則中止してもらいたいが、限られた人数によるパブリックビューイング等については健康福祉部において個別に判断し開催可否を決めてもいいのではないかと。どのような場合であってもアルコールを伴う飲食は禁止。
- ・ 事前キャンプ中や大会期間中に宿泊先での感染者が発生した場合、濃厚接触者も出る。その時にどのような体制・役割分担で医療につなげていくのか、隔離はどのようにやっていくのか。決まっていないことも多く、これでは議論は難しい。
- ・ 行政は、選手団の医師団と組織委員会が協定を締結する予定の指定医療機関とよく連携して対応してほしい。
- ・ 感染症はコロナだけでなく、他の輸入感染症の感染も危惧される。連絡窓口や相談先を決めておく等、具体的な対応を早急に決めて地域医療関係者に共有してほしい。

- * 公式ライブサイトやコミュニティライブサイト、パブリックビューイングの開催については、「原則中止していただきたい」との旨を対策専門家会議の意見として伝え、組織委員会や市等と協議する。
- * コロナも含めた様々な感染症を視野に入れ、組織委員会や関係機関と早急に協議し、決定した事項については地域医療関係者に速やかに共有していく。